

【選手案内】

木曾三川トライアスロン大会

- ☆ 東海ブロック大会
日本トライアスロン選手権(2017東京港)東海ブロック代表選考大会
- ☆ 2017木曾三川トライアスロン大会(一般)
- ☆ 2017長良川アクアスロン大会

主催 木曾三川トライアスロン大会実行委員会

主管 岐阜県トライアスロン連合

後援 国営木曾三川公園管理センター;海津市;JTU東海ブロック連絡協議会

開催日:日程(予定)

平成29年6月4日(日)			
駐車場オープン	7:20	～	
受付(東海ブロック大会、一般)	7:30	～	8:30
受付、荷物セット(アクアスロン)	8:00	～	10:00
バイク試走	7:40	～	8:20
トランジションオープン	7:40	～	8:30
スイムアップ	8:00	～	8:20
開会式:競技説明会	8:30	～	
ブロック予選;入水チェック	8:55	～	
東海ブロック予選スタート男子	9:10	～	
〃 女子	9:12	～	
木曾三川トライアスロン大会			
スイムアップ	9:50	～	10:05
スタート集合	9:50		
入水チェック	10:10	～	
第1スタート 201～307;39歳以下 101～115;女子	10:25		
第2スタート 308～398;49歳以下	10:28		
第3スタート;399～460	10:30		
アクアスロン競技説明:入水チェック	11:15	～	
アクアスロンA、Bスタート	11:30	～	
表彰式(東海ブロック大会)	11:50	～予定	
アクアスロン大会	12:00	～予定	アクアスロン
一般13:20～を予定年代別は確定次第			

- * 気象条件、国営公園利用規則等その他の事由、大会実行委員会の判断により、大会の中止、縮小、競技種目や距離の変更がされる場合があります。
- * 大会進行状況により、タイムスケジュールが変更される場合があります。場内放送にてご案内いたします。一部施設内におきましても聞き取れない場所が有ります。

競技場所 岐阜県海津市 国営木曾三川公園内 ”アクアフィールド トライアスロンコース”

表彰 東海ブロック選手権 男女各1位～3位
 トライアスロン(一般) 総合 男女各1位～3位
 年代別 男女各1位
 アクアスロンA、B 男女各1位～3位

入賞者には、表彰状が授与されます。
 表彰式は、入賞者確定後、表彰式の準備が整い次第ご案内します。
 入賞者は、レース後場内放送にご注意ください。

競技規則 本大会競技規則は日本トライアスロン連合（JTU）競技規則を適用いたします。

一般；アクアスロンの部は、ローカルルールも適用されます。

大会競技ルールの確認、最終判断の説明は、競技説明会にて行います。選手は必ず出席ください。

東海ブロック予選会 特記事項(会場案内は、一般と同じ。)

- ウエア JTUおよびITUの競技規則の規定を適用。スイムウエアに於いても着用を含み、JTU競技規則を適用。
- バイク バイク、ヘルメットともに、JTU競技規則に定める規定を適用。走行時においても同様。
ドラフティング許可レース。同性間のドラフティングは許可。男子の周回遅れは、DNFとする。
予想される選手に対して、モータ審判員他より宣告されるが、例外もある。DNFとなった選手は、コース外に退避。
降車し、逆走することなく、徒歩にて、競技選手に影響を与えないように、棄権の手順を行ってください。
トランジション バイクセットは、レースNo.の貼ってある方をハンドル側にして、サドル掛け、荷物はコンパクトに。
第二トランジションは、同じ場所にハンドルまたはサドル掛け、用具は、まとめてください。散乱、投げ捨て、
他者への迷惑もペナルティの対象となります。
バイクは、1周5kmのコースを右回りに、8周回します。サイクルメーターを取り付け推奨。
ホイールストップをテニスコートの北側付近に設置。大会側での予備ホイールは準備しません。
8:00～8:30の間に、ホイールストップ場所にホイールをセット願います。
バイク項目、並走、追抜き禁止区間は、追抜き禁止、ブレーキポジション区間とする
- 乗降車 乗車ラインを越え、片足が完全についたのちに乗車。降車ラインの手前で、降車後片足が完全についている。
- ペナルティ 違反者は、その場でコールなくペナルティとなる場合があります、PB表示板を確認ください。
ランスタート付近にペナルティボックスを設置します。ペナルティを受けるのは、選手側の判断です。
表示板をご自分で確認してください。スタッフからの指示はありません。
レースNo.を表示します。スタッフにNo.を告げペナルティを受けてください。受けられない場合は失格です。

競技規則（一般：アクアスロン）**競技用ウエアについて**

前空き前ファスナー付きウエア、上下セパレートのウエアの着用には規定が設けられています。

開けている場合は、閉めて頂くよう、声をかけさせていただきます。ご了承ください。

※注意

(着用選手におきましては周知の為、複数回となりますが、声をかけさせていただきます。)

JTU競技規則

<http://www.jtu.or.jp/news/2013/130125-1.html>

会場は、気候により予想以上の変動があります。暑さ寒さの対策を十分に準備願います。

注意事項

一般：アクアスロン

- 施設利用 当日、車は必ず指定の（河川敷）駐車場にとめてください。閉門は17時。鎖にて施錠します。
- 駐車場 **岐阜県海津市**の木曾三川公園展望タワーより河川敷に降り、河川敷道路を上流へ。約1.5km
他の駐車場を利用されますと大会に支障があります。また、大会選手用の駐車場でない場合は、
大会終了まで出れません。コースの下見はできますが、公園内は一般開放されています。
- 建物施設 サービスセンター3階を選手、同伴者の控室とします。休憩はこちらで行ってください。
荷物は3階以外の場所に置かないようお願いいたします。荷物、貴重品は自己管理です。
監視員等は配置いたしません。不要に大きな場所取りや、荷物の紛失等ご注意ください。
大会時以外の遊泳は禁止です。
国営公園内を使用しておりますので、一般の利用者もおります。周囲にご注意ください。
男女別更衣室、コインロッカー、（100円使用：返却式）シャワールームがサービスセンター3階に
設置されております、人数分には不足しますが、譲り合いご利用ください。
- コース 陸上コースは舗装されておりますが、荒れているところもあり、
砂利や砂が浮いていたり窪み等あり、注意が必要です。
競技中以外でもバイク乗車時はヘルメット着用ストラップをきちんと締めてください。
コース内を応援者、一般者が横断、通行する場合があります。接触に注意ください。
常に前方に注意し、不測の事態に備えてください。
バイクを会場に配達される方は、実行委員会までご連絡ください。
- 体調管理 大会前には、医師の診断を受け、完走するのに余裕のある体力を
有することをご確認ください。レースは、長時間かつ過大な運動量を必要とされます。
大会前日の飲酒、夜更かしは控え、食事、水分を十分に摂りゆっくり休んでください。
大会当日は、適度な朝食をとり水分補給、捕食の準備をお願いします。
河川敷特有の天候になる場合があります。異常な暑さ、寒さ、風雨等に対応できる準備をお願いします。
- バイク試走 選手権、一般のバイク試走は、前日又は当日の8:20までをお願いします。
周回ポイントや、合流、分岐、折り返しと事前に必ず確認の試走をしてください。
トランジションからバイクコースには入れません。一度出たら川側からこ、コースに入ってください。
- 受付 受付時にレースNo.、氏名を申告ください。受付場所はレースNo.で区分されています。
事前に受付付近に掲示しますので、ご自分のNo.を確認の上お並びください。
- 用具の検査 事前検査は行いません、各自にて十分に点検、整備、検査し、JTU規則適合したものを使用ください。
バイクメカニックは設置しません。事前に点検、調整をお願いします。
- 配布物 レースNo.、バイクシール(左側)、記念品、スイムキャップ、ご自分のNo.か確認ください。
- マーキング ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。
太字油性マジックにて、数字縦書き、腕。(左側、なるべく、スイムウエアに隠れない場所を推奨。)
- レースNo.(大) 安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下がらず、見苦しく無い位置。
バイク時=背面、ラン時=前面。前面を優先します。
- バイクシール サドルの下、左側面に走行中にはがれないように貼り付けてください。バイクピックアップ時にも、No.確認します。

記録	<p>計測は、電子計測、計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、スイムスタート15分前より、スイムスタート付近にてお渡しします、レースNoを確認し、どちらかの足首にしっかりと取り付けてください、(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると正確な記録が測定できなく完走されても”棄権”となります。ご注意ください。 記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。 レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。</p>
リタイア	<p>各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。 体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。 大会会場は広範囲に及び、主催者側だけの安全管理では予測のできない状況もあります。 自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。 調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終われるようご協力ください。 又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。 リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。 リタイアする場合でもコースの内外ともに逆走は禁止です、コース外の芝生内を移動。歩いてください。 (周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。) 大会運営上や選手の体調による、ドクターやスタッフの判断により、棄権とする場合があります。 大会スタッフからの棄権の指示に、すみやかに従い競技を中止ください。 棄権後も、レースNo.ゼッケン、バイクシールは必要です。破棄、紛失しないでください。</p>
緊急時の心	<p>競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。</p>
スィム	<p>近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。</p>
バイク:ラン	<p>体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。</p>
救護	<p>医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じ対応できるよう待機しています。 会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、周囲のスタッフまたは選手に依頼ください。 重大な事故に関しましては救急搬送いたします、健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。 緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。ご協力をお願いします。 緊急時は選手間の追い抜き禁止。</p>
コース	<p>周回数、コースミスは自己責任です。失格となる場合があります。競技説明会には必ず出席ください。 コースから逸脱した場合は、元の場所より復帰ください。できれば、近くのスタッフの確認を申請願います。 周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。 スタッフが周回数やコースを競技中に教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。 コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。 コースは一人で閉鎖されたコースではありません。前方や路面状況に注意して安全に走行してください。 特に、スィムの上り口のコンクリート坂路、バイクのカーブ、合流、サンドコート横の舗装面上に吹き上がった砂、ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断、前方選手の急な進路変更、ブレーキングなど十分注意し不測の事態に備えてください。自分は良くても、前方者、横の選手が倒れる場合もあります。 コース設定が河川敷のため、特性上みずはげが悪く水たまりができる箇所も何か所かあります。 ヘッドセット等の使用は禁止します。他からの音声の確認できないため、規則として禁止。</p>
スィム	<p>1周500mのコースを右回りに3周します。コースロープが設置されています。 ウェットスーツ着用(推奨・義務)となる場合があります。スィムチェック後はアップはできません。 スタート③40分後(定刻スタートの場合11:15)において、スィム競技中の選手は、DNF棄権とします。 それ以外においても、スタッフから中止の指示がありましたら、速やかに従ってください。 スィムに自信のない方は、スタート前、スィム途中においてスキップを申し出て、バイクからスタートできます。 スィムスキップ希望者は、スタッフに申し出てください。コースの状況により、バイクスタートおこないます。 スタート地点、:水上よりスタートし、下流へ250m。折り返し再び、コンクリートスロープを上りコースへ入ります。(ゆっくり入ってください、浅い部分もあります。) 水深の浅い箇所があります。特にスタート付近の飛込みの際は、事前に確認ください。 岸側には、コンクリート護岸があります。岸川5mぐらいには、近寄らないでご注意ください。 コースロープ等に伝い、川底を蹴って、進行するのは禁止です。 救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。</p>
バイク	<p>右回りにて、1周5kmのコースを8周回行います。サイクルメーターの設置を推奨します。 ドラフティング禁止レースです。前輪先端から左右各1.5m、後方7mをドラフティング禁止とします。 バイクでの接触は、重大な事故を招きます。前方や周囲のバイクが、急に進路を変えても対応できる、車間を十分に開け、(車間距離10~15m)不測の事態に対応できるようにしてください。 先導、救護等の為、モーターバイク、車両がコース内に入ります。バイクでの事故が多く発生しており、選手や観客が大けがとなるのを予防するため、徐行且つ追い抜き、並走共に禁止の区間を設けます。</p>
	<p>禁止区間</p>
	<p>合流、分岐、折り返し、曲線区間内とその手前100m、通過後30m。 バイクスタートする選手とすでにバイクを周回している選手の接触が、発生しています。 また、フィニッシュと周回の選手による進路変更やブレーキによる接触。 これらの、前後100mを設定します。</p>

- バイク** バイクスタート地点に於いては、周回コース上の選手を優先とします。周回遅れでバイクコースに入る選手は、誘導員の指示及び前方を自分で確認し、優先権のある選手にコースを譲ってください。観客等がコースを横断されたり、すぐ横で見られている場合大変危険です。特に本部付近では、前方を確認し、注意してください。これらの区間ではブレーキをすぐに掛けれる状態で走行ください。大会側での車検は行いませんが、必ず、大会前にJITU規定、その他の規定に適合していることを確認し、整備、点検した後に参加ください。ヘルメット、バイクボトルも同様に規定に沿ったものを準備願います。バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止といたします。会場内でバイクに乗車中は、ヘルメット着用、ストラップを締めてください。ラックにかける際、No.シールが貼ってあるほうがハンドル側になるよう、サドル掛けとします。バイクセットは、ラックのレースNo.側を前にして、サドル掛けとします。荷物は、ハンドル側に置いてください。バイク終了後もセット時と同様にサドル掛け、荷物は小さくまとめてください。走路はハンドル側。トランジションに入ると、バイクのハンドル側を走り、ヘルメットをかぶり、ストラップをしっかりと締めた後に、バイクを取り出す。バイクが終わりトランジションに入ると、ハンドル側を走り、バイクをラックにサドル掛けした後に、ヘルメットのストラップを外してください。降車時は、バイク、荷物はセットした時と同じように整頓して設置してください。トランジション内は乗車禁止。片足ペダル走行も禁止。トランジションエリアには選手以外入れません。レースNo.をつけて入場。また、クローズ後は選手も入れません。会場内ではバイクに乗り移動する際は必ずヘルメットをしっかりとかぶり、ストラップ締めてください。荷物はレースに必要な物を最小限にまとめ【50cm立方体程度以下を推奨】使用するもの以外は禁止。ハンドル側に置いてください。他の選手やレースに支障をきたす場合は、注意、係員にて移動いたします。ご了承ください。カバン、袋、着てきた服等自分の荷物も禁止。トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。（ルールや運営上不具合の場合）場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。会場内、トランジション内での荷物の紛失が他会場で発生しています。貴重品の管理には注意してください。バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。ピックアップの際は必ず**ご本人がレースNo.を持って**（付けて）引き取りに来てください。ばいくに貼ってあるレースNo.と本人のレースNo.を照合させていただきます。悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まります。遠方からのご来場者もおられるため、競技本部の配慮にて、レースの途中で引き取りを行います。ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、ご声援をお願いします。選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。
- ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。ご了承ください。必ず選手がレースNo.を持って引取りしてください。**
- ラン** 1周2.5kmのコースを4周します。左側通行。追い抜きは一声かけて。エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ** フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。総合FINISHは専用コースとなります。同伴FINISHは、他の選手に配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。多人数での同伴は控えてください。フィニッシュ後もレースNo.ゼッケンは必要です。破棄、紛失しないでください。
- ペナルティ** 競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合はスタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。競技規則に違反した場合には、審判員より、ストップ&ゴー、タイムの加算、注意、警告が与えられます。悪質者は、失格となります。また、失格のコールに、注意、警告は必要とされません。審判員の判断、他の競技者への意見、競技会場への意見は、審議委員会まで（本部に設置）願います。詳細は、JITU競技規則を参照ください。
- お帰り** レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願、休憩は早めに、細かく取るようご配慮願います。
- 最後に** いろいろな規則や規制が設定されていますが、参加者が気持ちよく安全にレースができるように考えております。不備な点多々あるかと思われしますが、参加者全員が、公平に、安全に安心して楽しくレースができますようスタッフ一同願っております。コンディションにご注意願、お越しいただきますよう、お待ちいたしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれもご注意願います。
- ご不明な点は、事前にお問い合わせ願います。
- 事務局** 〒503-0627
岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731
木曾三川トライアスロン大会実行委員会
会長 若山 春夫 <http://gifu-triathlon.jp/>
TEL 0584-54-7447 e-mail info@gifu-triathlon.jp
FAX 0584-54-5506